

# 目標1 対話



ワークショップ



ヘッジホッグクラブ (子育て支援)



ふれあい喫茶



給食サービス

# 目標2 創造



広報活動



ホームページ



献血



献血事業



わくわくプラザ

# 目標3 アクション



市民スポーツ祭



ふれあいまつり



校庭キャンプ



自主防災活動



地域安全センター  
(青バト・見守り)



敬老祝典

敬老祝典

作成年月：令和5年3月  
作成者：わがまち推進計画作成実行委員会  
印刷社：省文社

## 南山本小学校区

# わがまち 推進計画



スローガン

「みんなできくろくろく南山本」

第3期 R5～10

南山本小学校区まちづくり協議会



【スローガン】  
『みんなでつくろう南山本』

目標1 対話

○学生・子育て世代・経験豊富な高齢者など、世代を超えたみんなで話し合いを行い、活動や南山本について考えます  
○不安や疑問など、みんなで話し合います

目標2 創造

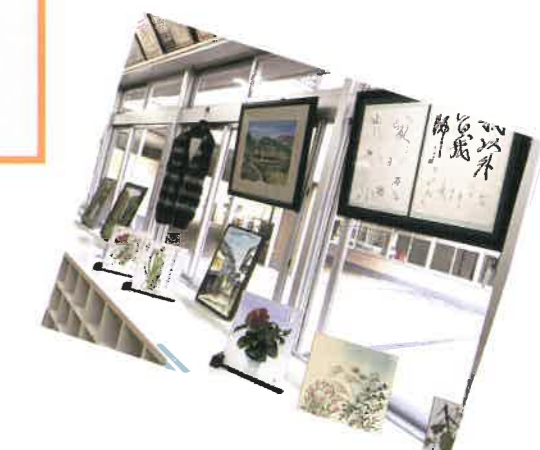
○みんなで1つの形に創り上げます  
○これからの南山本地区を支える新たな担い手や南山本の健やかな未来を創っていきます

目標3 アクション

○みんなで一緒に活動を行います  
○行った活動をより良いものにするため、再度話し合いを行い、見直していきます

みんなで話し合いを行います

(対話の場づくり)



目標1  
対話

南山本 小学校区  
まちづくり協議会

目標3  
アクション

目標2  
創造

みんなで活動を行います

(年中行事・防災や安全活動)



みんなで創り上げます

(担い手創出・若手育成・健康づくり)

○市では市政運営の3つの重要ポイントとして「子ども・子育て」・「安全・安心」・「魅力・活力」を掲げ、「子ども・子育て」への施策が拡充されています。これに基づいて、南山本地区では「子育て世代」を中心に「ワークショップ」形式の対話を実施しました。その中で「夫婦が共働きである」・「土・日曜日に就業している」などの声が上がリ、地域活動への参加が難しいということが分かりました。家庭環境や働き方が変化する現代では、地域で活躍が期待される子育て世代のような若者同士、若者と地域の高齢者の方々など『人と人との関係性』が希薄になっていることで、地域が一体となり『よいまちづくり=共創のまちづくり』を行うことが難しくなっています。

○そして、大きな問題として「自分の意見を述べるのが苦手だ」・「自分の考えが反映されるのか」などの不安から、若者を中心に話し合いへの参加を懸念する人々が増えていることや、話し合いの場で参加者から意見が出ないなど『地域全体の意見が集まりにくい状態』になってきています。

○以上のような問題に対して、ワークショップで取り組んだ「自分の意見は尊重される」という安心感が担保された『話し合い=対話』の実施が必要と考えました。これにより「自分の意見の発信」・「様々な意見の集約」・「1つの形として創り上げる」・「参加者で納得して活動を行う」という過程を通して、南山本地区で生じている問題が解決していくことができると考えました。

○今後の活動を担っていく子育て(若者)世代、今まで活動を行い様々な知識や経験が豊富な高齢者など、「話し合いに参加する全員が対等な関係」であり「安心して話し合いが行える場」を作っていく。そして地域のみみんなで一緒に活動を作り上げ、実施していくこと。これが『よいまちづくり=共創のまちづくり』に繋がります。今まで行ってきた活動も目的と手段がすり替わらないように、コロナ禍を経た今だからこそ行える活動にリニューアルしていくこと、ヘッジホッグクラブ(子育て支援)やワークショップ、献血事業などの新しい取り組み、これらもみんなで一緒に話し合って実施していきたいと考えています。そして、新たな地域活動の担い手を発掘し、伝統ある南山本地区の活動を持続可能なものにしていきます。